

第三回 新宿区補助金等審査委員会 会議概要

【日 時】平成 16 年 7 月 27 日（火）午後 3 時 30 分～午後 5 時 40 分

【場 所】新宿区役所 第 3 委員会室

【出席者】（敬称略 順不同）

委員長 沼田 明

副委員長 卯月 盛夫

委 員 乳井 昌史

委 員 日坂 秀満

委 員 立花 典子

委 員 浅見 美恵子

委 員 峯村 文子

（区） 企画部長 企画課長

（事務局）企画課主査

（担当課）健康部 高齢者いきがい課長

計画推進課長

介護保険課長

衛生課長

【次 第】

1 開 会

2 審 議

（ 1 ） 区単独事業補助金について

（健康部が所管している事業補助金）

（ 2 ） その他

3 閉会

【資 料】

資料 1 事業補助見直し一覧

資料 2 補助金見直し調書（健康部）

ケ 人と猫との調和のとれたまちづくり

【委員長】次に最後ですけれども、「人と猫との調和のとれたまちづくり」について。

【委員】飼い猫の去勢その他の費用ということはわかるんですけれども、飼い主のいない猫、これはどういうふうを持ち込まれ、どういうふうに行ったのでしょうか。

【衛生課長】この制度が始まりました平成3年ごろには、まだまだ地域で野良猫対策をするような住民のグループとか、そういう地域の猫問題を考える協会の方とか、そういう運動はなかったのですが、ちょうど平成11年に東京都で野良猫問題を考えるための東京都動物保護管理審議会の答申が出まして、地域猫を地域で、みんなで野良猫の面倒を見ながら、そして不妊・去勢手術を行って、それ以上ふやさずに、そして今いる野良猫の命は全うさせようというような、そういった基本的な考え方が出ました。それに賛同するグループも大変ふえてきたということがございまして、新宿区も昨年度までは飼い主のいる猫に対する助成金の制度だったものが、野良猫についても持ち込みをして、きちっと避妊手術をしてくださる受け皿ができたと判断しまして、本年度からは飼い主のいない猫に対する助成金もスタートさせたということです。

また近所で野良猫に子猫が生まれると、その始末をしなくちゃいけないと、そういう恐怖感から全額自分が負担で持ち込むケースとか、そういうのもございます。

【委員長】これは東京都の審議会は僕は基本的に間違えていると思っているんですよ。これこそまさに自己責任なんであって、これをやっても野良猫は一向に減らないだろうと。

無責任な飼い方をいかになくすかということを、まず基本的に考えないと僕はいけない問題じゃないかなというふうに思っているんですよ。

地域猫という考え方も、NHKの番組でやったやつは地域の人が力を合わせて野良猫を地域で飼って、飼い主を探しているわけですよ。野良猫の飼い主を探す、地域で。それで野良猫をなくすという、そこが基本であり、不妊手術だけしてやっても決して野良猫は減るわけじゃないし、飼い主はまさに自分のところの猫なんだから自分のペットの責任ぐらいきちんととらなきゃ飼う資格がないわけですよ。

【衛生課長】この制度が始まったときの目的といいますのは、やはり猫に対する苦情とか、そういったものが非常に寄せられておまして。

【委員長】それはわかるんだけど、苦情が多いから不妊手術に行政がお金を出すというのは正しい対応じゃないだろうというんですよ。基本的な考え方として。

【委員】ちょっと確認なんですけれども、じゃあ、この助成というのは最初飼い猫でまずスタートしたと理解していいんですか。

【衛生課長】そうです。平成3年度から昨年度までは飼い猫の助成制度ということできっとやっておりました。

まず野良猫はなぜふえるかといいますと、飼い猫が次々子どもを産んでしまって、そして飼いきれなくなって捨てるということによって発生することが多い。本来不妊手術は飼い主の自己責任と認識していますが、ただ現実には、野良猫がふえることによって地域の問題にもなるということで、スタートしたということです。

【委員】手術にかかる費用というのは、お医者様によって違うのかもしれませんが、幾らぐらいかかるもんなんですか。

【衛生課長】お医者さんによって本当にすごく差があるんですが、平均値で言いますと雌の場合には1匹2万5,000円から2万6,000円、雄は1万5,000円から1万6,000円ぐらいです。

【委員】随分高い、1割ちょっとぐらいを補助しているということですか。

犬にはないですよ。犬はみんなちゃんとつながれているからですか。

【衛生課長】犬の場合には、やはりつながられていますし、猫のように外に徘徊しませんから、望まない妊娠というのはあまり起こりえないということで。

【委員長】猫でも屋外に出さずに飼えるんです。犬と同じで、外に出るときは首輪をつけて連れて歩く。僕は多いときは犬を2匹、猫を3匹飼っていましたが。だから自分の経験からしても言うのだけれど、猫を外に出さないでもちゃんと飼えるんです。

ただ漫然と不妊手術の助成だけやっても税金の無駄遣いだと、僕は思うのです。

【衛生課長】いろいろな催し物のときに、猫の飼い方としては屋内飼育、そして飼い主は避妊手術をするようにというようなことは呼びかけております。なかなか日本では飼い猫を屋外に自由に出すというような飼い方が、わりと一般的というような現状がありまして、それが徹底されないというようなこともございます。

【委員長】区条例か何かをつくって、飼い猫を放して外に出したら罰金を取るようなことにでもしたらどうですかね。

【衛生課長】そういうことも、これから検討していかなくてはいけないのかもしれませんが。

【委員】野良猫を見つけて不妊手術をさせるためには、具体的にはどうしたらいいわけ。保健所に連絡をとればいいわけ。

【衛生課長】実は、野良猫を捕まえること自体が非常に大変なんです。今そういったNPOがいて、ノウハウを教えてくれるようなものがあるんです。

【委員】差額はだれが持つのか。

【衛生課長】それは、いろいろなんです。例えばある地域では、地域の中で非常にそういうことをしていますよということを知ることによって、いろいろなお店に猫の募金、ニャンニャン募金というようなものを、募金箱を置かせてもらって募金をしたりとか。あとフリーマーケットをしたりとか。町会も、町会長さんのところにもいろいろ猫の苦情が持ち込まれて困っているというような現状がありますので、町会の方の同意を得て、町会費の中から多少寄付をしてくださるとか。でも中心になるのが、一生懸命やっているボランティアの方が自腹を切っているというのが現状ではあります。

【委員】一匹の猫のために、メスだと2万5,000円というのはかなり高いですね。それに対する補助は。

【衛生課長】今年からメスが5,000円、オスが3,000円です。

【委員】グループを組んでやっているような方だったら、例えば募金をする、フリマをや

ってお金を稼ぐとか、いろいろな方法があるでしょうけれども、なかなか個人が捕まえて、その手術を受けにいかせるというのは、あと残りは目に見えて自己負担になるというのは、かなりしんどいんですね。ということは、委員長がおっしゃったみたく、もっと根本的な問題を解決するようなことをしないと、いたちごっこになってしまうような気がするんです。

自分のことではなんですけども、うちは犬を飼っているんですが、犬に対するそういう補助とか、そういうのは全然ないですね。猫に対して、こういうやり方をずっとしていくというのは、やはり根本的な解決にはあまりつながっていかなんじゃないかなと思うんです。

【委員】きょう初めてわかりましたけれども、飼い猫が子供を産んで、それが野良猫のもとになるということもある。

【衛生課長】猫の場合には1年間に3回くらい出産をしまして、1回に5、6匹産んでしまうというのがあるんです。飼い主さんが、自然のほうがいいということで、わりと昔は手術をしない方がたくさんいらしたんです。けどもやはり、年に5匹も6匹も、3回となりますと、だんだん飼いきらなくなって捨ててしまう。でも、いろいろな自治体でこういった手術費を助成することによりまして、啓発活動も盛んになって、だいぶ効果は出ているのではないかと思います。都の動物愛護センターにおいて薬殺される猫の総数が平成10年は1万2,555頭だったんですが15年では、9,738頭に減ってきています。東京都では各地域でこういった手術の取り組みをすることによって、今後10年間でこの1万件近くある猫の引き取り件数を半分に減らしたいというような目標をハルスプランを立てているんです。

処分される猫のうち1,200頭くらいは所有者が、自分のところで子猫が産まれたので、飼いきれないで、というので持ち込んでいる。持ち込むのもまだいいほうで、そのまま捨てる飼い主さんというのはもっともっと多いと思います。そういったことで、飼い猫に対するこの助成金というのは、ある程度飼い主さんに、自覚を促すための1つの手段でもあるのかなというふうに思っています。

【委員長】オスの猫だけ去勢すれば目的は達せられるのでは。

【衛生課長】猫は発情期の時期に鳴き声がうるさくなるので、住民から苦情がでます。これに対応する意味で、オスメスともに対象としています。

【委員】私も個人的には納得できないです。助成ではなく、啓発を促す必要があるのでは

ないでしょうか。

【委員】去勢手術を受けた猫には何か印をつけるのですか。

【衛生課長】ピアスをしたり、カットしたり色々です。

【委員長】気持ちはわかるけど、問題のある制度だと思います。

3 閉会

【委員長】それでは、本日の委員会はここで終了いたします。